

お 知 ら せ

平成25年 4月 3日
国土交通省中部地方整備局
入札監視委員会第二部会事務局

中部地方整備局入札監視委員会第二部会が第4回定例会議を開催 — 審 議 概 要 公 表 —

中部地方整備局入札監視委員会第二部会の平成24年度第4回定例会議を3月27日、中部地方整備局名古屋港湾事務所にて開催しました。

第二部会第4回定例会議では、発注工事等の中から抽出した5件の事案に係る一般競争の参加資格の設定等について審議を行いました。

入札監視委員会は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づき、地方整備局長の委嘱に基づき設置された学識経験者等で構成する第三者機関です。

当該委員会では、中立・公正な立場で客観的に入札及び契約手続きについて審議を行い、意見の具申又は勧告を行います。

以下、審議概要についてお知らせします。

1. 日時及び場所

日 時：平成25年3月27日（水）13時00分～15時00分

場 所：中部地方整備局名古屋港湾事務所 会議室

2. 審議概要

別紙のとおり

3. 配 布

中部地方整備局記者クラブ

名古屋港記者クラブ

港湾新聞

港湾空港タイムズ

日本海事新聞

海事プレス

4. 問い合わせ先

中部地方整備局総務部

契約管理官 宮戸 実

電話 052-651-6263 (ダイヤルイン)

FAX 052-651-2770

別紙1

平成24年度 中部地方整備局 入札監視委員会第二部会

第4回定例会議 審議概要

開催日及び場所		平成25年3月27日(水) 中部地方整備局名古屋港湾事務所	
委員		[部会長] 矢野 和雄 (弁護士) 北野 利一 (大学院准教授) 横溝 大 (大学院教授)	
審議対象期間		平成24年10月1日～平成24年12月31日	
抽出案件数		総件数 5 件 審議案件は別紙1-2のとおり	
入札・契約方式		件数	工事名等
工 事	一般競争入札 (政府調達適用)	1 件	
	一般競争入札 (政府調達適用外)	2 件	
	工事希望型競争入札	0 件	
	通常指名競争入札	0 件	
	随意契約	0 件	
建設コンサルタント業務等 一般競争入札		0 件	
建設コンサルタント業務等 簡易公募型プロポーザル		1 件	
役務の提供等及び物品の製造等 一般競争入札		1 件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等		意見・質問	回 答
		別紙1-3のとおり	別紙1-3のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容		意見の具申又は勧告はなし。	

別紙 1-2 抽出案件一覧表

【工事】

(一般競争入札方式 : 政府調達に関する協定適用対象工事)

期間 平成24年10月1日～平成24年12月31日

工 事 名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
平成24年度 名古屋港東航路(-16m)浚渫土排送工事	港湾等しゅんせつ工事	15	14	10月29日	りんかい日産建設(株)	593,250	87.3	

(一般競争入札方式 : 政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)

期間 平成24年10月1日～平成24年12月31日

工 事 名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
平成24年度 御前崎港防波堤(西)(改良)基礎工事	港湾土木工事	7	6	10月4日	青木建設(株)	120,540	95.4	
平成24年度 津松阪港津地区(栗真町屋)堤防(改良)本体工事	港湾土木工事	3	3	12月27日	山野・中村経常建設共同企業体	210,000	88.7	

【建設コンサルタント業務等】

(簡易公募型プロポーザル方式)

期間 平成24年10月1日～平成24年12月31日

業 務 名	業種区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
平成24年度 港湾施設ライフサイクルコスト検討業務	建設コンサルタント等	2	2	12月19日	ポートコンサルタント(株)	9,870	97.2	

【役務の提供等及び物品の製造等】

(一般競争入札方式)

期間 平成24年10月1日～平成24年12月31日

業 務 名	業務分類	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
平成24年度 三河港浮き桟橋点検修理	役務の提供等	2	1	10月3日	形原造船(株)	5,828	98.3	

別紙1-3 委員からの意見・質問、それに対する回答等

1.報告事項についての審議概要		
報告事項		
項目	意見・質問	回答
①工事の入札方式別発注一覧 ②建設コンサルタント業務等の入札方式別発注一覧 ③役務及び物品の入札方式別発注一覧 ④指名停止措置等の運用状況 ⑤談合情報等 ⑥再度入札における一位不動状況 ⑦工事種別ごとの低入札価格調査対象工事の発生状況	なし	

2. 抽出案件の審議概要		
会議の審議対象案件は、当番の委員が入札契約方式別に事務所毎の審議実績及び地域性、事業種別毎を考慮したうえで無作為抽出したものである。		
抽出案件	意見・質問	回答
1. 一般競争入札(政府調達適用)		
平成24年度 名古屋港東航路(-16m)浚渫土排送工事	以前の工事(PIの築堤嵩上工事)では築堤嵩上げに関する技術提案を求めていたが、今回は設定していないのか。	本工事は浚渫土の排送であり、築堤嵩上げは工種が異なる。
	入札を取りやめた者があるが、何故か。	入札参加を取りやめた者は、他局の事案で10月17日付で公正取引委員会から排除措置命令及び課徴金納付命令を受けています。 そのため、入札参加を自粛したのではないかと考えられます。 (当該業者は中部地方整備局から指名停止措置は行っておりません。)
	本工事は1年で終了しない工事と考えられますが、何年間実施されていて、あと何年かかるのか。	東航路の浚渫についてはあと数年かかります。現在の土砂処分場が昭和50年から使用されていますので、長い間、工事を実施しています。
	本工事の内容は、毎年似通ったものになるのか。	特殊要因は発生しないと考えられます。
	価格が似ている中で、評価はどういう点が異なるのか。	価格順1位の者の提案内容は具体的な記載が無く効果が不明でしたが、落札者の提案内容は具体的でかつ高い効果が期待できる提案でした。この結果、加算点に14点差がついております。
	管架設備の維持管理の提案を要求したのは初めてか。	今回が初めてです。
	本件は適正に処理された。	

2. 一般競争入札(政府調達適用外)		
平成24年度 御前崎港防波堤(西)(改良)基礎工事	入札を取りやめた者があるが、何故か。	他の工事を受注したことにより、配置予定技術者が配置できなくなったためと聞いています。
	加算点が特に低い者があるが、何故か。	技術提案がなかったため、加算点が低くなっています。
	今回の改良は、東日本大震災を受けての、防波堤を粘り強くするような改良か。	その通りです。
	技術テーマとしては、粘り強くするための観点での設定は、設計側の提案になるのか。	その通りです。 あくまで工事に関するテーマとしています。
本件は適正に処理された。		
3. 一般競争入札(政府調達適用外)		
平成24年度 津松阪港津地区(栗真町屋)堤防(改良)本体工事	応募者が3者しかいないが、少ない理由は何が考えられるか。	工事内容としては一般的なものであるが、年末発注であったことから技術者の確保が要因のひとつと考えられます。
	入札結果で、2社が無効となっている理由は何か。	調査基準価格未満の入札であったため、施工体制等を調査確認する追加資料の提出を要請したところ、資料提出を辞退したことにより入札を無効としたものです。
	ランクを拡大すれば応募者が増えたのではないか。	事前に調査した結果では、条件に該当する事業者は68社でした。 入札説明書のダウンロードは、32社あり、十分な競争が確保できるとして、ランクの拡大はしませんでした。
本件は適正に処理された。		
4. 簡易公募型プロポーザル(建設コンサルタント業務等)		
平成24年度 港湾施設ライフサイクルコスト検討業務	参加表明者が2者だが、通常この程度なのか。	今回の応募可能者は16者を想定しており、前年の同業務は5者の応募がありました。今回は、東日本の震災の復旧にあたって技術者が手薄になっていたと推測されます。当事務所においては、24年度は簡易公募型プロポーザルを10件発注し、1~7者の応募(平均2~3者)があります。
	表面含浸材は、本業務の発注のために施工したものか。	施設の完成当時、将来的に検証するため試験的に一部施工したものです。
本件は適正に処理された。		

5. 一般競争入札(役務の提供等及び物品の製造等)		
平成24年度 三河港 浮き棧橋点検修理	入札を取りやめた者があるが、何故か。	他の業務が多忙になったためと聞いています。
	想定される業者は何社いたのか。	伊勢湾及び三河湾域に修理施設(上架施設)を確保できる者は10社でした。
	応募者が少ない理由を分析しているか。	受注者がドックまで浮き棧橋を曳航して修理することになるが、回航費は参加表明者の中から最も近い社までの費用を計上するため、遠方の社は赤字覚悟での参加表明は、しづらいのではないかと考えられます。
	落札率が高い理由は何が考えられるか。	入札者の適切な見積もりの結果と考えています。浮き棧橋は、工種が少なく、積算費用の内訳も材料費が主体を占めており、使用する材料は、一般的に汎用品が殆どであり、値段の差もないため、安価に積算できなかつたと考えられます。
	伊勢湾及び三河湾域に修理施設(上架施設)を確保できることとしているのは何故か。	浮き棧橋が外洋の波浪条件に耐えられない構造であるためです。
	本件は適正に処理された。	
6. その他		
	なし	